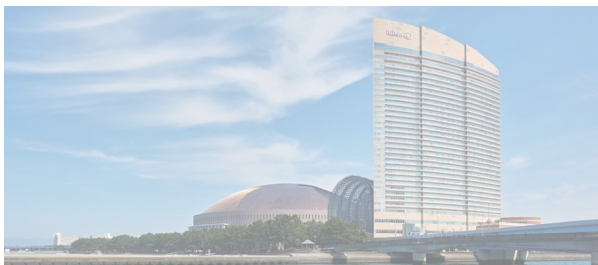


会場案内

ヒルトン福岡シーホーク

〒810-8650
福岡県福岡市中央区地行浜2-2-3

☎ 092-844-8111



参加費・参加登録期間

大会HP <https://fava2022.com>

参加登録は上記大会ホームページの「参加登録・宿泊予約」メニューよりお申込みください。

		第1次登録 (2022年8月1日正午締切)	第2次登録 (2022年9月30日正午締切)	当日登録 (2022年10月1日以降)
獣医師会 会員 (医療関係者)	全日	30,000円	40,000円	50,000円
	1日	20,000円	25,000円	30,000円
学生 (学生証提示)	全日	8,000円		
動物看護師	全日	10,000円		
同伴者 (配偶者・子など)	全日	8,000円		
上記以外	全日	50,000円		
	1日	30,000円		
ガラディナー		8,000円		10,000円

参加登録に関するお問合せ先

第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会
(令和4年度) 登録事務局

株式会社日本旅行 九州法人営業部内
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-1-5F
TEL : 092-451-0606
FAX : 092-451-0550
E-mail : fava_fukuoka@nta.co.jp

※「医療関係者」の対象となるのは、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士です。
※第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会と第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和4年度)が同時開催されます。
FAVA大会にご登録いただきますと、日本獣医師会獣医学術学会年次大会や関連行事(一部有料)にも参加できます。

1 第21回FAVA大会

- 開会式、記念講演**
開会式では、世界獣医師会(WVA)のラファエル・ラガンズ会長や日本政府の関係省庁大臣、福岡県知事、福岡市長のご臨席が予定されています。また、開会式後は、ノーベル生理学・医学賞を受賞された本庶佑先生による「免疫チェックポイント阻害因子の発見とがん治療への応用」の記念講演が行われます。
- 特別シンポジウム**
「アジアからのワンヘルスアプローチを考える」と題して、ワンヘルスに関連する国内外の最先端の取り組みについて報告がなされます。
- 招待講演**
国内外の著名な研究者に、小動物臨床や乳牛の生産病など、獣医学領域の10分野についてのご講演をお願いしています。
- 一般講演**
FAVA各国の獣医師による最新の研究・活動のご講演を予定しています。ご講演希望の方は、<https://fava2022.com/call-for-abstract.html>からご応募ください。同年6月に選考予定です。
- 閉会式及び福岡宣言の採択**
大会の最終日に、特別シンポジウムで議論された内容を踏まえて、今後のアジアにおけるワンヘルス活動の指針となる「アジアワンヘルス福岡宣言2022」が発せられる予定です。
- ガラディナー**
FAVA大会にご参加いただいた方の懇親を深めるため11月12日夜に、美味しい福岡県産の食材を使ったディナーを予定しています。(有料)
- 県内バスツアー**
大会の開催期間中に福岡県内のワンヘルスを実感できる見学ツアーを予定しています。(有料)
- 協賛企業の展示**
ご協賛いただいた関連企業の展示ブースを大会期間中、常設します。
- ランチョンセミナー**
関係企業のご支援により、ランチを召し上がっていただきながらのセミナーを開催します。

2 第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和4年度)

シンポジウム、教育講演が開催されるほか、各地区学会において受賞された講演が行われ、その中から日本獣医師会獣医学術賞「獣医学術学会賞」が選出されます。

第21回 アジア獣医師会連合(FAVA)大会

[連携開催] 第40回 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和4年度)

ONE HEALTH APPROACH FROM ASIA 2022 FAVA



会期

2022年
11月11日(金)~13日(日)

会場

ヒルトン福岡シーホーク

〒810-8650
福岡県福岡市中央区地行浜2-2-3

大会長

藏内 勇夫

[公益社団法人日本獣医師会 会長]

アジアからのワンヘルスアプローチ

～動物と人の健康は一つ。それは地球の願い～



第21回
アジア獣医師会連合(FAVA)大会
大会長 藏内 勇夫
[公益社団法人日本獣医師会 会長]

第21回 アジア獣医師会連合(FAVA)大会の開催によせて ワンヘルスをご存じですか？

アジア獣医師会連合(FAVA)は日本をはじめとするアジア・オセアニア地域23カ国・地域の獣医師会の連合組織であり、第21回FAVA大会は、ワンヘルスをテーマとして開催いたします。ワンヘルスの理念は、地球の持続的発展を図る上で人の健康、動物の健康、環境保全の三者は欠かすことができないとするもので、獣医師、医師、環境分野の研究者等の関係者が緊密な協力関係を構築して活動し、人獣共通感染症、薬剤耐性菌等の課題の解決を図るものです。この記念すべき大会に、多数の獣医師の方々やワンヘルスを推進する上での協力者である医療関係者、環境問題の研究者の方々、さらに市民の方々のご参加を期待しています。

主催 公益社団法人日本獣医師会 アジア獣医師会連合 共催 福岡県 福岡市

運営 株式会社日本旅行 九州法人営業部

お問合せ 第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会 運営準備室 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-1-5F

TEL 092-451-0606 FAX 092-451-0550 E-mail fava_fukuoka@nta.co.jp

プログラム

※下記プログラムは2022年3月時点の情報です。内容は今後変更される可能性があります。



11月11日(金)

第1会場	午前	開 会 式 開会挨拶 ◎ 藏内 勇夫[日本獣医師会会長・FAVA会長(現FAVA副会長)] 来賓挨拶 ◎ ラファエル・ラガンズ[WVA会長]、クアザ・ニザムディン・ビン・ハサン・ニザム[現FAVA会長]、農林水産大臣、厚生労働大臣、環境大臣、福岡県知事、福岡市長 記念講演 免疫チェックポイント阻害因子の発見とがん治療への応用 ◎ 本庶 佑[2018年ノーベル生理学・医学賞]
	午後	特別シンポジウムPartⅠ アジアからのOne Healthアプローチを考える COVID-19とワンヘルス 1. 新型コロナウイルス感染症の臨床及び診断的特徴 2. 新型コロナを含む新興ウイルス感染症の病理 3. 新型コロナを含む動物由来感染症 4. 新興感染症の征圧を目指して 特別シンポジウムPartⅡ アジアからのOne Healthアプローチを考える 人と動物の共通感染症とワンヘルス 1. 狂犬病の対策におけるワンヘルスの実践と課題について 2. アジアにおける新興ダニ媒介性ウイルス感染症 3. 鳥インフルエンザの現状と課題 4. アジアにおける蚊媒介性感染症の現状と課題

第2会場	午前	開会式・記念講演サテライト会場
	午後	招待講演1-1 小動物診療の最新技術 <小動物の心臓外科の進展> 1. 小動物の心臓外科の進展 2. 日本における犬の僧帽弁修復術 3. イギリスにおける心臓外科手術 招待講演1-2 小動物診療の最新技術 <小動物の腫瘍療法の最前線> イヌ悪性黒色腫に対する免疫チェックポイント阻害薬の臨床研究

第3会場	午後	招待講演2 野生動物/展示動物 <保全医学の観点を踏まえた野生動物対策> 1. OIE野生動物保全プログラム ― アジア太平洋地域における野生動物保全の意義 2. 野生動物の健全性とワンヘルスアプローチ <希少種保全における獣医師の役割> 動物園における獣医師の役割 ― 生物多様性と地球環境保全への取り組み 招待講演3 動物福祉(アニマルウェルフェア) <各国における動物福祉法制> 1. 日本の動物福祉の現状について 2. 動物福祉の評価方法 3. 動物福祉における獣医師の役割
------	----	--



11月12日(土)

第1会場	午前	特別シンポジウムPartⅢ アジアからのOne Healthアプローチを考える 薬剤耐性(AMR)とワンヘルス 1. 特別講演 獣医療分野における薬剤耐性菌対策の国際的な取り組み状況 2. 特別講演 人 ― 動物連関で創られる Pandemic, Silent Pandemic 薬剤耐性(AMR)とワンヘルス シンポジウム:アジアにおける動物由来薬剤耐性菌の現状と課題 <小動物医療分野> 日本の伴侶動物分野における薬剤耐性菌の現状と課題 <小動物医療分野> タイ国の伴侶動物分野における薬剤耐性菌の現状と課題 <生産動物医療分野> 日本の食用動物分野における薬剤耐性菌の現状と課題 <生産動物医療分野> 韓国の食用動物分野における薬剤耐性菌の現状と課題 <環境分野> 薬剤耐性菌のヒトに至る経路としての環境の重要性
------	----	--

第2会場	午前	招待講演1-3 小動物診療の最新技術 <小動物獣医療へのmicroRNAの診断的応用> 1. microRNAを用いたイヌ悪性腫瘍における早期診断法の確立 2. イヌとネコの尿中に出現するmicroRNAの意義 招待講演1-4 小動物診療の最新技術 <小動物の痒みに対する診断アプローチ:犬と猫の違い> 1. 犬猫の皮膚感染症 2. 犬猫のアレルギー性皮膚炎
	午後	招待講演1-5 小動物診療の最新技術 <小動物の慢性腎臓病の薬物療法 ―理論と実践―> 1. 慢性腎臓病の薬物療法における治療戦略 2. 慢性腎臓病に対するRAS抑制薬の使い方 3. 慢性腎臓病における微小循環改善の意義



11月12日(土)

第3会場	午前	招待講演4 畜産分野のICT / AI活用 <畜産分野におけるICT (情報通信技術)およびAI (人工知能)の活用と展望> 1. 牛群管理におけるICTおよびAIの活用と展望 2. ICTを活用した牛の繁殖管理システム 3. 新規多機能尾部センサーと機械学習を用いた牛の繁殖管理技術 4. AIを活用した家畜疾患の早期発見技術の開発
	午後	招待講演5 家畜伝染病対策 1. 日本の豚飼養農場と野生イノシシにおける豚熱の発生 2. 韓国におけるアフリカ豚熱の発生と防疫対策 3. アフリカ馬疫: タイにおける発生の教訓
第4会場	午前	招待講演6 馬の細菌感染症 <馬科学、獣医療における最近の話題「ウマからヒトへ、ヒトからウマへ、今注目すべき馬の細菌感染症」> 1. MRSA: 現在の状況と問題点 2. C.difficile: 現在の状況と問題点 3. Rhodococcus equi: 研究の現状と新展開 4. 腺疫: 現在の状況と問題点
	午後	招待講演7 食中毒とその制御 <アジア地域における重要な食中毒とその制御について> 1. Salmonella serogroup Cは公衆衛生上懸念される病原体として考慮すべきか? 2. カンピロバクター食中毒: ASEAN諸国での現状 3. 食中毒菌を制御する新しい技術 招待講演8 環境問題 <海洋プラスチック汚染の現状と対策> 海洋プラスチック汚染 ～マクロプラスチックからマイクロプラスチックまで～



11月13日(日)

第1会場	午前	特別シンポジウムPartⅣ アジアからのOne Healthアプローチを考える 各分野のワンヘルスの取り組み 1. 座長挨拶「本シンポジウムの開催目的」 ◎ 藏内 勇夫[日本獣医師会会長・FAVA会長(現FAVA副会長)] ◎ 釘田 博文[OIEアジア太平洋地域代表] 2. 日本獣医師会におけるワンヘルスの取り組みと期待 ◎ 藏内 勇夫[日本獣医師会会長・FAVA会長(現FAVA副会長)] 3. 世界医師会と日本医師会におけるワンヘルスの取り組みと期待 ◎ 横倉 義武[第68代世界医師会会長・日本医師会名誉会長] 4. 世界獣医師会におけるワンヘルスの取り組みと期待 ◎ ラファエル・ラガンズ[WVA会長] 5. FAVA戦略プラン2021～2025とワンヘルス に関するFAVAの活動 ◎ クアザ・ニザムディン・ビン・ハサン・ニザム[現FAVA会長] ◎ バンバン・ポンチョ・ペオステリアンテ[FAVA事務局長・ボゴール農科大学 教授] 6. OIEにおけるワンヘルスの取り組みと期待 7. WHOにおけるワンヘルスの取り組みと期待
	午後	8. 日本の獣医学教育におけるワンヘルスの取り組みと期待 ◎ 丸山総一[日本大学 教授・日本公衆衛生学会会長] 9. 福岡県におけるワンヘルスの取り組みと期待 ◎ 草場 治雄[福岡県獣医師会 会長] 10. ワンヘルスを学んで(勉強して)思う (福岡県高校生・市民団体) 特別シンポジウムPartⅤ まとめ 1. アジアからのワンヘルスアプローチのコメント及び期待 ◎ アチャリア サイラスタ[FAVA バンコク事務所所長・チュラロンコン大学 教授] 2. 大会宣言アジアワンヘルス福岡宣言2022 提案説明・採択、調印 閉会挨拶 ◎ 藏内 勇夫[日本獣医師会会長・FAVA会長(現FAVA副会長)]

第2会場	午前	招待講演1-6 小動物診療の最新技術 <小動物の運動器疾患とリハビリテーション> 小動物の運動器疾患とリハビリテーション 招待講演1-7 小動物診療の最新技術 <愛玩動物看護師> 愛玩動物看護師に対する法制度
	午後	招待講演1-8 小動物診療の最新技術 <FASTの応用> 小動物の救急疾患におけるFASTの応用

第3会場	午前	招待講演9 生産病に関する乳牛の最新知見 <乳牛の周産期の飼養管理と疾病管理の最新知見> 1. 周産期の飼養管理とSARAに関する最新知見 2. 周産期の疾病管理に関する最新知見 最新の乳房炎の治療と予防の現状と課題
	午後	招待講演10 獣医学教育 <獣医学教育環境の更なる整備充実に向けて> 1. 日本獣医学教育の歩みと改善への取り組みとFAVAストラテジックプラン(獣医学教育)の紹介 2. 獣医学教育改善に向けた北海道大学獣医学部 ― 帯広畜産大学畜産学部共同獣医学課程の取り組み 3. AVMA認証後のソウル大学獣医学部における獣医学教育の最新動向 4. アジア獣医科大学協議会(AAVS): これまでの取り組みと課題、そして今後の方向性 5. アジア獣医学教育に関するAAVSとFAVAとの連携について



2022年11月11日(金)：大会1日目 午前

第1会場・第2会場	開会式 記念講演	
	10:00～12:45 [日/英]	
	開会挨拶	藏内勇夫 (日本獣医師会会長・FAVA会長)
	来賓挨拶	岸田文雄 (内閣総理大臣) ラファエル・ラガンズ (WVA会長) クアザ・ニザムディン・ハッサン・ニザム (FAVA前会長) 林 芳正 (外務大臣) 服部誠太郎 (福岡県知事) 高島宗一郎 (福岡市長)
	記念講演「新興感染症の征圧を目指して」 河岡義裕 (国立国際医療研究センター 国際ウイルス感染症研究センター / 東京大学医科学研究所 特任教授 / ウィスコンシン大学教授)	P. 47
	大会長謝辞	藏内勇夫 (日本獣医師会会長・FAVA会長)

2022年11月11日(金)：大会1日目 午後

第1会場

特別シンポジウム Part I 「アジアからのワンヘルスアプローチを考える〈COVID-19とワンヘルス〉」			
14:00～16:00  [日／英]			
座長：前田 健（国立感染症研究所）			
新型コロナ感染症の臨床及び診断的特徴	ドミニク・ドワイヤー	シドニー大学 ウェストミード病院	P. 49
新型コロナを含む新興ウイルス感染症の病理	鈴木忠樹	国立感染症研究所	P. 50
人と動物の境界領域における感染症出現前の調査	マリオン・クープマンズ	エラスムス大学医療センター	P. 51
日本のコウモリにおけるコロナウイルス感染症	村上 晋	東京大学	P. 52
特別シンポジウム Part II 「アジアからのワンヘルスアプローチを考える〈人と動物の共通感染症とワンヘルス〉」			
16:30～18:30  [日／英]			
座長：荻和宏明（北海道大学）			
狂犬病の対策におけるワンヘルスの実践と課題について	井上 智	国立感染症研究所	P. 53
アジアにおける新興ダニ媒介性ウイルス感染症	前田 健	国立感染症研究所	P. 54
鳥インフルエンザの現状と課題	迫田義博	北海道大学	P. 55
アジアにおける蚊媒介性感染症の現状と課題	モイ メンリン	東京大学	P. 56

第2会場

招待講演 1-1「小動物診療の最新技術〈小動物の心臓外科の進展〉」			
14:00～16:00 [英]			
座長：上地正実（日本どうぶつ先進医療研究所 株式会社（JASMINE）代表取締役）			
小動物の心臓外科の進展	上地正実	日本どうぶつ先進医療研究所(株)	P. 57
日本における犬の僧帽弁修復術	水野 祐	日本どうぶつ先進医療研究所(株)	P. 58
イギリスにおける心臓外科手術	ポピー・プリースト	ディック・ホワイト リファラル	P. 59
招待講演 1-2「小動物診療の最新技術〈小動物の腫瘍療法の最前線〉」			
16:30～17:30 [英]			
座長：滝口満喜（北海道大学）			
イヌ悪性黒色腫に対する免疫チェックポイント阻害薬の臨床研究	前川直也	北海道大学	P. 60
特別招待講演 1			
17:30～18:30 [英]			
座長：ローリー・テラー（アメリカ獣医師会会長）			
ハワイ大学におけるワンヘルスの取り組み	サンドラ・P・チャン	ハワイ大学	P. 61

第3会場	招待講演2「野生動物/展示動物」			
	14:00～16:00 [英]			
	座長：中山裕之（東京大学名誉教授／動物医療センター Peco 獣医療研究所）			
	〈保全医学の観点を踏まえた野生動物対策〉			
	WOAHや野生動物保全プログラムーアジア太平洋地域における野生動物保全の意義	リサ・トンプソン	WOAH東京オフィス	P. 62
	野生動物の健全性とワンヘルスアプローチ	米田久美子	（一財）自然環境研究センター	P. 63
	〈希少種保全における獣医師の役割〉			
	動物園における獣医師の役割—生物多様性と地球環境保全への取り組み	村田浩一	ズーラシア/日本大学	P. 64
	招待講演3「動物福祉（アニマルウェルフェア）〈各国における動物福祉法制〉」			
	16:30～18:45 [英]			
第7会場	座長：菊水健史（麻布大学）			
	日本の動物福祉の現状について	田中亜紀	日本獣生命科学大学	P. 65
	動物福祉の評価方法	ジョージナ・グローブ	ワイルドウェルフェア	P. 66
	動物福祉における獣医師の役割	グラント・ミラー	ソノマカウンティ チェンジプログラム	P. 67
	〔総合討論〕			
	FAVA AMS Stream WAAW2022 FAVA 薬剤耐性に関するシンポジウム 「Resilience & Reinvention < AMRに対するFAVAの戦いの鍵としてのアジアでのワンヘルスアプローチ>」			
	14:30～17:00 [英]			
	歓迎の言葉 藏内勇夫（日本獣医師会会長・FAVA会長）			
	開会挨拶 クアザ・ニザムディン・ハッサン・ニザム（FAVA前会長）			P. 68
	FAVAの抗菌薬適正使用 アップデートと計画	コラゾン・P・オクシデンタル	FAVA薬剤耐性小委員会 委員長	P. 69
	日本の鶏と豚における動物用治療ガイドラインの作成	臼井 優	酪農学園大学	P. 70
	フィリピンの抗菌薬適正使用 現状とプログラム	ユーージェニオ・メンデ	FAVA薬剤耐性小委員会 共同委員長	P. 71
	抗菌剤の慎重使用に向けて アジア太平洋地域における獣医師の技能向上を目指す	マリー・ジョイ・ゴードンシロ	国際連合食糧農業機関（FAO） アジア太平洋地域（RAP）	P. 72
	司会進行 福田淳志（日本獣医師会） アチャリア・サイラスト（FAVAバンコク事務所長／チュラロンコン大学）			

2022年11月12日(土)：大会2日目 午前

第1会場	特別シンポジウム Part III 「アジアからのワンヘルスアプローチを考える〈薬剤耐性（AMR）とワンヘルス〉」			
	8:30～12:30 [日/英]			
	座長：田村 豊（酪農学園大学 名誉教授）、佐藤真澄（日生研株式会社）			
	〔特別講演〕 獣医療分野における薬剤耐性菌対策の国際的な取り組み状況	ジェフリー・スコットウィーズ	ゲルフ大学	P. 73
	〔特別講演〕 人―動物連関で作られるパンデミックとサイレントパンデミック	舘田一博	東邦大学	P. 74
	〈小動物医療分野：アジアにおける動物由来薬剤耐性菌の現状と課題〉			
	日本の伴侶動物分野における薬剤耐性菌の現状と課題	原田和記	鳥取大学	P. 75
	タイ国の伴侶動物分野における薬剤耐性菌の現状と課題	スカンヤ・トングラサクル	カセサート大学	P. 76
	〈生産動物医療分野：アジアにおける動物由来薬剤耐性菌の現状と課題〉			
	日本における食用動物分野における薬剤耐性菌の現状と課題	川西路子	農林水産省動物医薬品検査所	P. 77
	韓国における食用動物分野における薬剤耐性菌の現状と課題	イム スギョン	韓国動植物検疫局	P. 78
	〈環境分野：アジアにおける動物由来薬剤耐性菌の現状と課題〉			
	薬剤耐性菌のヒトに至る経路としての環境の重要性	臼井 優	酪農学園大学	P. 79
第2会場	招待講演 1-3「小動物診療の最新技術〈小動物獣医療へのmicroRNAの診断的応用〉」			
	9:00～10:00 [英]			
	座長：森 崇（岐阜大学）			
	microRNAを用いたイヌ悪性腫瘍における早期診断法の確立	伊藤 博	（一社）ヒトと動物の臨床研究情報センター	P. 80
	イヌとネコの尿中に出現するmicroRNAの意義	市居 修	北海道大学	P. 81
	招待講演 1-4「小動物診療の最新技術〈小動物の痒みに対する診断アプローチ：イヌとネコの違い〉」			
	10:00～12:00 [英]			
	座長：西藤公司（東京農工大学）			
	犬猫の皮膚感染症	西藤公司	東京農工大学	P. 82
	犬猫のアレルギー性皮膚炎	伊従慶太	（株）VDT	P. 83
第3会場	招待講演 4「畜産分野におけるICT（情報通信技術）およびAI（人工知能）の活用と展望」			
	9:00～11:20 [英]			
	座長：檜垣彰吾（農研機構動衛研）、佐々木羊介（明治大学）			
	牛の管理における革新 ―ニーズ、夢と現実―	サダヴ・ガロン	Hachaklait 獣医療サービス イスラエル	P. 84
	ICTを活用した牛の繁殖管理システム	吉岡耕治	麻布大学	P. 85
	新規多機能尾部センサーと機械学習を用いた牛の繁殖管理技術	檜垣彰吾	農研機構動衛研	P. 86
第4会場	招待講演 5「馬の細菌性感染症〈馬科学、獣医療における最近の話題「ウマからヒトへ、ヒトからウマへ、今注目すべき馬の細菌性感染症」〉」			
	9:00～11:50 [英]			
	座長：丹羽秀和（日本中央競馬会 競走馬総合研究所）			
	MRSA感染症：現在の状況と問題点	内田英里	日本中央競馬会 競走馬総合研究所	P. 88
	<i>Clostridioides difficile</i> 感染症：現在の状況と問題点	木下優太	日本中央競馬会 競走馬総合研究所	P. 89
	<i>Rhodococcus equi</i> 感染症：研究の現状と新展開	高井伸二	北里大学名誉教授	P. 90
	鼻疽：現在の状況と問題点	バーナー・バートン・バートン	モンゴル国立生命科学大学	P. 91

2022年11月12日(土)：大会2日目 午前

第5会場	獣医療提供体制整備推進総合対策事業 シンポジウム「わが国における豚熱の最新知見とワクチンによる防疫戦略」				日本産業動物獣医学会
	9:00～11:50				
	座長：深井克彦（農研機構動衛研）、山本健久（農研機構動衛研）				
	日本で発生している豚熱ウイルスの特徴	深井克彦	農研機構動衛研	P. 191	
	日本の豚熱流行の疫学	山本健久	農研機構動衛研	P. 193	
	現行の豚用ワクチン及びマーカーワクチンの有効性	山下麻衣子	農林水産省動物医薬品検査所	P. 195	
	野生イノシシにおける豚熱及びアフリカ豚熱対策の現状	永田知史	農林水産省動物衛生課	P. 196	
	イノシシの生態から見た戦略的豚熱対策	平田滋樹	農研機構畜産研究部門	P. 198	
第6会場	シンポジウム「小動物の遺伝子疾患 UPDATE：注目すべき疾患と症状」				日本小動物獣医学会
	9:00～11:50				
	座長：大和 修（鹿児島大学）				
	新しい神経徴候「頭位変換性捻転斜頸Positioning Head Tilt」～犬のライソゾーム病を中心に～	田村慎司	たむら動物病院	P. 200	
	スコティッシュ・フォールド・キャットの折れ耳は病気の症状か否か	鷹栖雅峰	那須野ヶ原アニマルクリニック	P. 202	
	遺伝性眼疾患 OVERVIEW	印牧信行	DVMs どうぶつ医療センター横浜	P. 204	
	犬猫の品種に潜在する遺伝的・不良形質の統合的予防戦略	大和 修	鹿児島大学	P. 207	
	〔総合討論〕				
第7会場	獣医療提供体制整備推進総合対策事業 シンポジウム「市街地に侵入する野生動物」				日本獣医公衆衛生学会
	9:00～11:50				
	座長：坪田敏男（北海道大学）、荻和宏明（北海道大学）				
	札幌市街地に侵入するヒグマの生態と管理	坪田敏男	北海道大学	P. 209	
	札幌市のエゾシカ対策	佐々木彩加	札幌市	P. 211	
	市街地周辺に出没するイノシシの問題	岸本真弓	(株)野生動物保護管理事務所	P. 213	
	市街地に出没した野生動物の対応～野生ツキノワグマとニホンザルの対応と今後の課題～	森光由樹	兵庫県立大学	P. 215	
	〔総合討論〕				

 年次大会

2022年11月12日(土)：大会2日目 午後

第2会場	招待講演1-5「小動物診療の最新技術〈小動物の慢性腎臓病の薬物療法—理論と実践—〉」			
	13:00～15:00 [英]			
	座長：星 史雄（岡山理科大学）			
	猫のchronic kidney disease (CKD)の成り立ちと尿細管間質性腎炎に対する薬物療法戦略～抗Renin-angiotensin-aldosterone system (RAAS)薬を中心に～	星 史雄	岡山理科大学	P. 92
第3会場	招待講演6「家畜伝染病対策」			
	13:00～14:30 [英]			
	座長：筒井俊之（元農研機構動衛研）			
	日本の豚飼養農場と野生イノシシにおける豚熱の発生	山本健久	農研機構動衛研	P. 94
第4会場	招待講演7「食中毒とその制御〈アジア地域における重要な食中毒とその制御について〉」			
	13:00～14:30 [英]			
	座長：三澤尚明（宮崎大学）、タラドン・ルアントンクン（チュラロンコン大学）			
	Salmonella Serogroup Cは公衆衛生上懸念される病原体として考慮すべきか？	タラドン・ルアントンクン	チュラロンコン大学/食品媒介病原菌薬剤耐性モニタリングセンター	P. 97
第5会場	招待講演8「環境問題〈海洋プラスチック汚染の現状と対策〉」			
	15:30～16:30 [英]			
	座長：植田富貴子（ヤマザキ動物看護大学）			
	消えた海洋プラスチックの行方。それは海洋環境だけの問題なのか？	磯辺篤彦	九州大学	P. 101
第5会場	特別招待講演2			
	14:30～15:30 [英]			
	座長：ローリー・テラー（アメリカ獣医師会会長）			
	アメリカのワンヘルス教育	デボラ・トムソン	ワンヘルスストレスズ	P. 100
第5会場	招待講演9「獣医療提供体制整備推進総合対策事業シンポジウム「肉用牛における飼養管理と肺炎医療の最新知見」」			
	13:00～16:25			
	座長：松田敬一（宮城県農業共済組合）、石川真悟（大阪公立大学）			
	黒毛和種肥育牛の飼養管理と疾病	松田敬一	宮城県農業共済組合	P. 217
第5会場	シンポジウム「肉用牛における飼養管理と肺炎医療の最新知見」			
	肥育ステージの進行に伴う第一胃性状の変化と枝肉成績との関係	尾形 透	岩手県農業共済組合	P. 219
	気管支肺胞洗浄法による肺炎の診断と治療方針の決定	帆保誠二	鹿児島大学	P. 221
	肺炎罹患牛の気管支肺胞領域における免疫機構と自然免疫に着目した疾病制御	石川真悟	大阪公立大学	P. 223
第5会場	〔総合討論〕			

第6会場	教育講演			日本小動物獣医学会
	13:00 ～ 15:00			
	座長：東田周三（福岡市獣医師会会長）			
	膝蓋骨内方脱臼は難しい～まずは、膝関節の成り立ちを理解する～	桂 太郎	カツラ犬猫病院	P. 225
	教育講演			日本小動物獣医学会
第7会場	15:15 ～ 16:45			
	座長：吉野信秀（大分小動物病院）			
	動物病院における実際のチーム獣医療 現状と未来への期待	川田 睦	ネオベッツVRセンター	P. 227
	獣医療提供体制整備推進総合対策事業 教育講演			日本獣医公衆衛生学会
	13:00 ～ 14:00			
	座長：苅和宏明（北海道大学）			
	新規ナイロウイルスであるエゾウイルスによる感染症の発見	松野啓太	北海道大学	P. 229
	獣医療提供体制整備推進総合対策事業 シンポジウム「食中毒制御の成功例から学ぶ対策と課題」			日本獣医公衆衛生学会
	14:30 ～ 16:55			
	座長：三澤尚明（宮崎大学）、森田幸雄（麻布大学）			
	リスク評価に基づく食中毒制御	山本茂貴	内閣府食品安全委員会	P. 230
	腸炎ビブリオ食中毒のリスクマネジメント	工藤由起子	国立医薬品食品衛生研究所	P. 232
	サルモネラ食中毒のリスクマネジメント - サルモネラ食中毒防止に向けた調査研究を振り返って -	熊谷 進	東京大学名誉教授	P. 234
	食中毒制御対策の課題	豊福 肇	山口大学	P. 236
	〔総合討論〕			

■ 年次大会

2022年11月13日(日)：大会3日目 午前

第1会場	特別シンポジウム Part IV-1 「アジアからのワンヘルスアプローチを考える〈各分野及び機関におけるワンヘルスの取組みとその期待〉」			
	9:00～12:10  [日/英]			
	座長：藏内勇夫（日本獣医師会会長・FAVA会長） 釘田博文（WOAHアジア太平洋地域代表）			
	座長挨拶「本シンポジウム開催の目的」	藏内勇夫 釘田博文	日本獣医師会会長・FAVA会長 WOAHアジア太平洋地域代表	
	日本獣医師会におけるワンヘルスの取組みと期待	藏内勇夫	日本獣医師会会長・FAVA会長	P. 102
	世界医師会と日本医師会におけるワンヘルスの取組みと期待	横倉義武	第68代世界医師会会長・ 日本医師会名誉会長	P. 104
	世界獣医師会におけるワンヘルスの取組みと期待	ラファエル・ ラガンズ	WVA会長	P. 105
	FAVA戦略プラン2021-2025とワンヘルスに関するFAVAの活動	クアザ・ニザム ディン・ハッサン・ニザム バンバン・ポン ジョ・プリオセリヤント	FAVA前会長 FAVA事務局長／ボゴール農 科大学	P. 106
	WOAHにおけるワンヘルスの取組みと期待	釘田博文	WOAHアジア太平洋地域代表	P. 107
第2会場	WHOにおけるワンヘルスの取組みと期待			
	座長：ジャン・ピエール・イエマジ			
	WHO			
	招待講演1-6「小動物診療の最新技術〈小動物の運動器疾患とリハビリテーション〉」			
	9:00～10:30 [英]			
第2会場	座長：枝村一弥（日本大学）			
	小動物の運動器疾患とリハビリテーション	佐野忠士	酪農学園大学	P. 108
	招待講演1-7「小動物診療の最新技術〈愛玩動物看護師〉」			
	10:30～11:30 [英]			
	座長：石岡克己（日本獣医生命科学大学）			
第3会場	愛玩動物看護師に対する法制度	山崎 薫	ヤマザキ学園	P. 109
	招待講演9「生産病に関する乳牛の最新知見」			
	9:00～11:15 [英]			
	座長：恩田 賢（麻布大学）、キム・ヨハン（カンウォン国立大学）			
	〈乳牛の周産期の飼養管理と疾病管理の最新知見〉			
第3会場	周産期の飼養管理とSARAに関する最新知見	キム・ヨハン	カンウォン国立大学	P. 110
	周産期の疾病管理に関する最新知見	恩田 賢	麻布大学	P. 111
	最新の乳房炎の治療と予防の現状と課題	菊 佳男	酪農学園大学	P. 112

2022年11月13日(日)：大会3日目 午後

第1会場	特別シンポジウム Part IV-2 「アジアからのワンヘルスアプローチを考える〈各分野のワンヘルスの取組み〉」			
	13:00～15:00 〔日／英〕			
	座長：藏内勇夫（日本獣医師会会長・FAVA会長） 釘田博文（WOAHアジア太平洋地域代表）			
	日本の獣医学教育におけるワンヘルスの取組みと期待	丸山総一	日本大学/日本獣医公衆衛生学会会長	P. 127
	福岡県におけるワンヘルスの取組みと期待	草場治雄	（公社）福岡県獣医師会会長	P. 128
	ワンヘルスを学んで思う	大久保誠子	（一社）ワン・ヘルス・クリエイツ	P. 129
		福岡県立八女農業高等学校		P. 130
		福岡県立鞍手高等学校		P. 131
	特別シンポジウムの取りまとめ	藏内勇夫 釘田博文	日本獣医師会会長・FAVA会長 WOAHアジア太平洋地域代表	
	特別シンポジウム Part V 「アジアからのワンヘルスアプローチを考える〈まとめ・閉会式〉」			
第2会場	15:40～17:00 〔日／英〕			
	「アジアからのワンヘルスアプローチ」のコメント及び期待	アチャリア・サイラスト	FAVA バンコク事務所/チュラロンコン大学	P. 132
	大会宣言「アジアワンヘルス福岡宣言 2022」提案説明・採択	藏内勇夫	日本獣医師会会長・FAVA会長	
	「アジアワンヘルス福岡宣言 2022」調印			
	第21回FAVA大会福岡 閉会の挨拶			
	招待講演 1-8「小動物診療の最新技術〈FASTの応用〉」			
	13:00～15:00 〔英〕			
	座長：西村亮平（東京大学）			
	小動物の救急疾患におけるFASTの応用	上田 悠	ノースカロライナ州立大学	P. 133
	第3会場	招待講演 10「獣医学教育〈獣医学教育環境の更なる整備充実に向けて〉」		
13:00～15:10 〔英〕				
座長：久和 茂（東京大学）				
FAVAストラテジックプラン（獣医学教育）の紹介		バンバン・ボンジョ・プリオセリヤント	FAVA事務局長／ボゴール農科大学	P. 134
日本の獣医学教育の歩みと改善への取組み		佐藤晃一	山口大学	P. 135
獣医学教育改善に向けた北海道大学獣医学部一帯広畜産大学畜産学部共同獣医学課程の取組み		滝口満喜	北海道大学	P. 136
AVMA認証後のソウル大学獣医学部における獣医学教育の最新動向		リ・インヒョン	ソウル大学	P. 137
アジア獣医大学協会（AAVS）：これまでの取組みと課題、そして今後の方向性		芳賀 猛	東京大学	P. 138
[パネルディスカッションとまとめ] アジアの獣医学教育に関するAAVSとFAVAとの連携について		[座長] 久和 茂 [パネリスト] バンバン・ボンジョ・プリオセリヤント 佐藤晃一 芳賀 猛 アブドゥル・ラーマン・オマール	東京大学 FAVA事務局長／ボゴール農科大学 山口大学 東京大学 AAVS会長	

第4会場	日本医師会・日本獣医師会・厚生労働省による連携シンポジウム (令和4年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)助成事業) COVID-19時代をペットとともに乗り切るーCOVID-19だけじゃない人と動物の感染症ー			
	13:00～15:30			
	座長：山中篤志(宮崎県立宮崎病院)、中川清志(東京都獣医師会)			
	動物のコロナウイルス感染症とCOVID-19感染症の実際 ー伴侶動物は新型コロナウイルスに感染する?ー	水谷哲也	東京農工大学	P. 238
	コロナストレスに負けない暮らし ー伴侶動物を感染させないためにー	村田佳輝	むらた動物病院・東京農工大学	P. 240
	マダニが媒介する重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	前田 健	国立感染症研究所	P. 242
	人と動物の共通感染症の側面から見たSFTSの臨床	山中篤志	宮崎県立宮崎病院	P. 244
	人と動物の健康を守るワンヘルスの取り組み ー北海道大学One Healthリサーチセンターの活動紹介ー	堀内基広	北海道大学	P. 246

年次大会

2022年11月11日(金)：大会1日目 午後

第4会場	14:10～14:15 日本産業動物獣医学会学会会長 挨拶				佐藤 繁
	地区学会長賞受賞講演（産業動物）				
	14:15～15:03				座長：佐藤 繁（岩手大学名誉教授）
	産地区－1	メカブの給与が離乳子豚の腸内細菌叢に与える影響について	福岡まどか	徳島県畜産研究課	P. 145
	産地区－2	柿皮給与による牛の消化管内メタン生成抑制効果の検討	神田 章	長野県畜産試験場	P. 146
	産地区－3	一時的な飼料摂取制限が乳中脂肪酸組成に及ぼす影響	生田健太郎	兵庫県立農林水産技術総合センター畜産技術センター	P. 147
	産地区－4	カッコウアザミ属植物の関与が疑われた牛の中毒事例への対応と課題	大鹿有加	鹿児島中央家畜保健衛生所	P. 148
	15:03～15:51				座長：佐藤真澄（日生研株式会社）
	産地区－5	野生イノシシ由来の豚熱ウイルスにおける全長ゲノム配列を用いた分子系統地理学的解析	石塚 駿	茨城県県北家畜保健衛生所	P. 149
	産地区－6	豚呼吸器複合病に関連する16種の病原体を検出するマルチプレックスRT-qPCRの設計と野外応用	五嶋祐介	岩手県県北家畜保健衛生所	P. 150
	産地区－7	肺炎罹患黒毛和種子牛におけるエンロフロキサシンの気管支肺泡領域への移行性	河野亜紀	鹿児島大学、鹿児島県農業共済組合	P. 151
	産地区－8	<i>Mycoplasma bovis</i> 臨床分離株における最小発育阻止濃度の決定とキノロン耐性決定領域の遺伝子変異	田原和貴	鹿児島大学	P. 152
	16:10～16:58				座長：猪熊 壽（東京大学）
	産地区－9	ギガファームにおける <i>Salmonella Ngili</i> 感染事例及びその対策	日浅 淳	士幌町農業協同組合	P. 153
	産地区－10	感染源としてカラスが強く疑われた牛サルモネラ症発生事例	櫻井由絵	北海道立総合研究機構 畜産試験場	P. 154
	産地区－11	牛伝染性リンパ腫発症を反映する血液エクソソーム内包miRNAバイオマーカーの探索	高田秋音	岐阜大学	P. 155
	産地区－12	愛玩鶏で確認された鳥糸状虫症	細川久美子	広島県西部家畜保健衛生所	P. 156
	17:10～17:58				座長：三角一浩（鹿児島大学）
	産地区－13	畜舎周囲消毒のための液状剤自動散布器の開発	上羽智恵美	京都府中丹家畜保健衛生所	P. 157
	産地区－14	当歳馬における急性間質性肺炎17例	水口悠也	日高軽種馬農業協同組合	P. 158
	産地区－15	門脈造影検査下における短絡血管結紮法により治癒した先天性肝外門脈体循環シャントの黒毛和種子牛1症例	加藤圭介	株式会社 益田大動物診療所	P. 159
	産地区－16	農場現場にて実施する子牛の開腹手術における硬膜外麻酔と全静脈麻酔を併用した最適な麻酔管理法の検討	池田哲平	BRAST Livestock Clinic	P. 160
	「獣医学術奨励賞」受賞者記念講演（産業動物）				
	18:00～18:20				座長：佐藤 繁（岩手大学名誉教授）
		ダイレクトPCR法による牛伝染性リンパ腫感染源リスク牛の検出	宮本真智子	北海道・十勝家畜保健衛生所（現 農政部生産振興局畜産振興課）	P. 161

第5会場	14:10～14:15 日本小動物獣医学会会長 挨拶				佐藤れえ子
	地区学会会長賞受賞講演（小動物）				
	14:15～14:51				座長：伊藤直之（北里大学）
	小地区－1	胆嚢皮膚瘻の犬の1例	小山英志	協同組合仙台獣医師会 総合 どうぶつ病院	P. 162
	小地区－2	当院における慢性皮膚症状を呈する犬79例に対する 除去食試験の検討	元山奈津美	倉敷動物医療センター アイ ビー動物クリニック	P. 163
	小地区－3	犬尿中コルチゾール/クレアチニン比の基準値の確立 とクッシング症候群の診断への応用	永田矩之	北海道大学	P. 164
	14:51～15:27				座長：滝口満喜（北海道大学）
	小地区－4	猫の甲状腺機能亢進症における治療方法別の生存期 間の検討：甲状腺摘出術とメチマゾール投与の比較	内藤瑛治	湯木どうぶつ病院	P. 165
	小地区－5	既存治療に耐性化後ソラフェニブを使用した肛門嚢 腺癌の犬の1例	合田直樹	セントラルシティ動物病院	P. 166
	小地区－6	猫の喉頭腫瘍に対して18MHzの高周波プローブを用 いて描出した喉頭超音波画像の検討及び診断アルゴ リズムの提案	末松正弘	AMC末松どうぶつ病院	P. 167
	15:27～16:03				座長：岡野昇三（北里大学）
	小地区－7	CT検査により高度に石灰化した多量の椎間板物質を 脊柱管内に認めた椎間板ヘルニアの3症例	坂口裕亮	中山獣医科病院	P. 168
	小地区－8	ネコの角膜黒色壊死症の重症例に対する角膜実質切 除と生体材料 Biosis [®] 移植の効果	瀧本良幸	ナディア動物クリニック・動 物眼科	P. 169
	小地区－9	ペースメーカー植え込みを実施した猫18例の適応、 合併症、予後に関する回顧的研究	平川 篤	ペットクリニックハレルヤ粕 屋病院	P. 170
	16:20～16:56				座長：秋吉秀保（大阪公立大学）
	小地区－10	右腎臓腫瘍と後大静脈の部分切除術を実施した犬の 1例	森下正隆	ネオベッツVRセンター	P. 171
	小地区－11	小型犬における副腎腫瘍の手術適期の検討	藤本晋輔	大津動物クリニック	P. 172
	小地区－12	犬の肺腫瘍切除におけるインドシアニンググリーン蛍 光法を用いた術中同定法の有用性	櫻井尚輝	日本大学	P. 173
	16:56～17:20				座長：笹井和美（大阪公立大学）
	小地区－13	北海道獣医師会が行なった飼育犬・猫のダニ媒介性脳 炎の疫学的調査について	上田広之	北海道獣医師会小動物臨床部 会	P. 174
	小地区－14	脾臓摘出後に顕性化した犬バベシア症の30例	白永伸行	シラナガ動物病院	P. 175
	17:30～18:06				座長：遠藤泰之（鹿児島大学）
	小地区－15	犬から2頭の猫への重症熱性血小板減少症候群の院内 感染事例	岡林環樹	宮崎大・産業動物防疫リサー チセンター・宮崎大・獣医	P. 176
	小地区－16	<i>Taenia crassiceps</i> が寄生していたチンチラの一例	澤田浩気	ラビッツ動物病院	P. 177
	小地区－17	千葉県東部地域における犬レプトスピラ症多発例で の考察	村田佳輝	むらた動物病院、東京農工大 感染症センター	P. 178
	「獣医学術奨励賞」受賞者記念講演（小動物）				
	18:06～18:26				座長：岡野昇三（北里大学）
		重症急性呼吸器症候群コロナウイルス2感染により呼 吸器症状を呈した飼い猫の1例	山田恭嗣	やまだ動物病院	P. 179

第 6 会 場	14:10～14:15 日本獣医公衆衛生学会会長 挨拶				丸山総一
	地区学会長受賞講演（公衆衛生）				
	14:15～14:51				座長：苅和宏明（北海道大学）
	公地区－1	原因不明の集団胃腸炎事案及び食中毒事案におけるサポウイルスのブロードリアクティブ・リアルタイムPCRを用いた遡り調査	鈴藤 和	広島県立総合技術研究所保健環境センター	P. 180
	公地区－2	栃木県内で検出されたSARS-CoV-2(新型コロナウイルス)の分子疫学解析	齋藤明日美	栃木県保健環境センター	P. 181
	公地区－3	富山県で初めて確認されたイヌの重症熱性血小板減少症候群2例のウイルス検査所見	佐賀由美子	富山県衛生研究所ウイルス部	P. 182
	14:51～15:27				座長：植田富貴子（日本獣医生命科学大学名誉教授）
	公地区－4	と畜検査申請時の投棄歴未申告事例に対する取組み	野口りか	北海道帯広食肉衛生検査所	P. 183
	公地区－5	LCMSMSを用いた畜産物中残留動物用医薬品スクリーニング検査法の検討	石丸 歩	徳島県食肉衛生検査所	P. 184
	公地区－6	火山灰土壌を用いた水質浄化技術開発に向けた研究	谷口喬子	宮崎大・産業動物防疫リサーチセンター	P. 185
	15:27～15:51				座長：丸山総一（日本大学）
	公地区－7	猫の多頭飼育問題の対策について～ポピュレーションアプローチ法の検討～	金子未央	新潟県動物愛護センター	P. 186
	公地区－8	多機関連携を軸とした多頭飼育対策事業	松本浩樹	滋賀県動物保護管理センター	P. 187
	16:30～16:54				座長：三澤尚明（宮崎大学）
	公地区－9	<i>Escherichia albertii</i> の豚における浸潤状況調査及び分離方法の検討	須田朋洋	秋田県食肉衛生検査所	P. 188
	公地区－10	IMI型カルバペネマーゼ遺伝子の新規バリエーションを保有する <i>Enterobacter cloacae</i> complexの全ゲノム解析	川瀬 遵	島根県保健環境科学研究所	P. 189
	「獣医学術奨励賞」受賞者記念講演（公衆衛生）				
	16:54～17:14				座長：丸山総一（日本大学）
		野生動物でのオーエスキー病ウイルスの異種間伝播	南 昌平	山口大学、大阪大学微生物病研究所ウイルス免疫分野	P. 190

2022年11月13日(日)：大会3日目 午後

一般演題（一般口演・研究報告）（産業動物）				
13:00～13:30 座長：恩田 賢（麻布大学）				
産一般-1	初乳量コントロールが子牛に与える影響の検討	横井允雄	よつ葉乳業株式会社	P. 248
産一般-2	家畜市場に上市されたF1子牛における血中β-ヒドロキシ酪酸（BHB）濃度とルーメンスコア・外貌・血液性状との関係	鈴木実生	日本大学	P. 248
産一般-3	ホルスタイン種新生子牛における肋骨のCT計測サイズと実測サイズの比較	相川裕太郎	日本大学	P. 249
13:30～13:50 座長：菊 佳男（酪農学園大学）				
産一般-4	健康牛の乳中細菌叢と乳中抗菌因子濃度の関連	篠塚康典	麻布大学	P. 249
産一般-5	乳牛の乳頭管内ケラチンプラグにおけるラクトフェリン濃度とIgA濃度の解析	鶴長星香	日本大学	P. 250
13:50～14:10 座長：松田敬一（宮城県農業共済組合）				
産一般-6	肥育牛における呼吸器症状とサーモカメラにより測定した体表温度との関係	朴 孝敏	日本大学	P. 250
産一般-7	黒毛和種肥育牛におけるLEDライトの波長別にみた縮腫と血中ビタミンA濃度の関係	松田紘平	日本大学	P. 251
14:10～14:20 座長：帆保誠二（鹿児島大学）				
産研究-1	豚の鼻保定およびメシル酸マホプラジンによる化学的保定が白血球数に及ぼす影響	蓮田安信	独立行政法人 家畜改良センター	P. 251
14:20～14:40 座長：上村涼子（宮崎大学）				
産研究-2	生鮮肉類で国内初の機能性表示食品「はかた地どり」ムネ肉のイミダゾールジペプチド含量	北崎宏平	福岡県農林業総合試験場	P. 252
産研究-3	宮崎県で発生した口蹄疫の防疫対策従事者への非構造化インタビューにみるノンテクニカルスキルの課題	堀北哲也	日本大学	P. 252
14:40～14:50 座長：堀北哲也（日本大学）				
産研究-4	泌乳牛におけるプロジェステロン・エストラジオール配合剤の12日間腔内留置および定時人工授精による受胎性評価	関 誠	あすかアニマルヘルス株式会社	P. 253

一般演題（一般口演・研究報告）（小動物）				
13:00～13:20 座長：山崎真大（岩手大学）				
小一般-1	線虫の嗅覚を利用した犬と猫のがん検出方法	畠山英之	株式会社HIROTSUバイオサイエンス 福岡R&Dセンター	P. 254
小研究-1	日本国内の家庭犬における口腔内トリコモナス原虫の疫学調査	伊藤哲之	北里大学	P. 254
13:20～13:40 座長：伊藤直之（北里大学）				
小一般-2	ニコチンアミドモノヌクレオチド（NMN）の実験用ビーグル犬への投与試験：血液学的検査、血清生化学的検査および腸管内細菌叢への影響に関する研究	木村 透	山口大学	P. 255
小一般-3	アセチルヒドロキシプロリンのクリーム製品により治療を試みた犬の皮膚疾患3例	中村有加里	岡山理科大学	P. 255
13:40～14:00 座長：岡野昇三（北里大学）				
小一般-4	低血糖を随伴した犬の悪性腫瘍における糖調節因子の解析	田村 啓	日本大学	P. 256
小一般-5	犬のインスリンノーマに対して術中インドシアニンググリーン蛍光法を実施した1例	櫻井尚輝	日本大学	P. 256
14:00～14:30 座長：秋吉秀保（大阪公立大学）				
小一般-6	遠隔転移を伴う巨大腎腺癌の犬に対して緩和的治療として動脈化学塞栓術を実施した3例	平島達也	日本大学	P. 257
小研究-2	医原性および外傷性両側尿管断裂に対し外科的再建を行った猫の2症例	藤原昌雄	太宰府西犬猫クリニック	P. 257
小研究-3	猫の尿管閉塞において組織学的再建を行った19症例の中長期的予後の評価	岩井聡美	北里大学	P. 258
14:30～14:40 座長：永延清和（宮崎大学）				
小研究-4	デクスメトミジンの鼻腔内投与がネコの心臓超音波検査結果におよぼす影響	前田賢一	北里大学	P. 258

一般演題（一般口演・研究報告）（公衆衛生）					
第7会場	14:00～15:10		座長：次の講演者が座長を行います		
	公一般-1	EvaGreenリアルタイムPCRによるジフテリア毒素産生 <i>Corynebacterium ulcerans</i> の迅速同定法の開発	川瀬 遵	島根県保健環境科学研究所	P. 259
	公一般-2	イヌ飼育による唾液細菌叢構成変化が宿主行動に及ぼす影響	山岡未来	麻布大学	P. 259
	公一般-3	アルツハイマー型認知症腸内細菌叢ノトバイオームウスを用いた認知機能を低下させる細菌の探索	水田真未	麻布大学	P. 260
	公一般-4	東京都小笠原村におけるサルモネラによる感染症及び食中毒予防のための取組	山崎翔子	東京都動物愛護相談センター多摩支所	P. 260
	公一般-5	膿毒症の牛2症例から分離された <i>Mycoplasma bovis</i> について	橋本諒平	京都府中丹西保健所	P. 261
	公研究-1	人およびサルから分離した塹壕熱原因菌 <i>Bartonella quintana</i> の完全長ゲノムの比較解析	佐藤真伍	日本大学	P. 261
	公一般-6	Hokkaido ウイルスの複製機構とオートファジーの関係性についての解析	苅和宏明	北海道大学	P. 262

開催日程

大会1日目 11月11日（金）

🔊 日英同時通訳

会場	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	ポスター会場	展示会場	第8会場
	1F	1F	1F	1F	1F	3F	3F	3 F	1F	5 F
	アルゴス E・F	アルゴス D	ナビス A	ナビス B	ナビス C	ヴェガ	リゲル	小会場 櫻	アルゴス A・B・C ロビー、ホワイト	オリーブ
9:00										
10:00	開会式 記念講演 [日・英]								開会式 記念講演 サテライト会場	
11:00										
12:00										
	10:00-12:45									
13:00			ランチョン セミナー 1 富士フイルム和光純薬㈱ 13:00-13:50	ランチョン セミナー 2 ささえあ製薬㈱ 13:00-13:50	ランチョン セミナー 3 ㈱アイビー 13:00-13:50					
14:00	特別 シンポジウム Part I アジアからの ワンヘルス アプローチを 考える <COVID-19と ワンヘルス> [日・英] 14:00-16:00	招待講演 1-1 小動物診療の 最新技術 ＜小動物の心臓 外科の進展＞ [英] 14:00-16:00	招待講演 2 野生動物 / 展示動物 [英] 14:00-16:00	年次大会 [産業動物] 地区学会会長賞 受賞講演	年次大会 [小動物] 地区学会会長賞 受賞講演	年次大会 [公衆衛生] 地区学会会長賞 受賞講演	FAVA AMS Stream WAAW2022 Resilience & Reinvention AMRに対する FAVAの戦いの 鍵としてのアジ アでのワンヘル スアプローチ [英] 14:30-17:00	グループ A	企業展示	
15:00										
16:00										
	コーヒーブレイク									
17:00	特別 シンポジウム Part II アジアからの ワンヘルス アプローチを 考える <人と動物の 共通感染症と ワンヘルス> [日・英] 16:30-18:30	招待講演 1-2 小動物診療の 最新技術 ＜小動物の腫瘍 療法の最前線＞ [英] 16:30-17:30	招待講演 3 動物福祉 （アニマル ウェルフェア） ＜各国における 動物福祉法制＞ [英] 16:30-18:45	14:10-17:58	14:10-18:06	獣医学術奨励賞 受賞者記念講演 16:54-17:14		グループ A	グループ A	
18:00		特別招待講演 1 「ハワイ大学に おけるワンヘル スの取り組み」 サンドラ・P・チャ ン [英] 17:30-18:30								
19:00										
20:00									Welcome Party 19:00-21:00	
21:00										

略記について

産業動物……日本産業動物獣医学会
 小動物……日本小動物獣医学会
 公衆衛生……日本獣医公衆衛生学会

開催日程

大会2日目 11月12日(土)

🔊 日英同時通訳

会場	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	ポスター会場	展示会場	第8会場
	1F	1F	1F	1F	1F	3F	3F	3 F	1F	5 F
	アルゴス E・F	アルゴス D	ナビス A	ナビス B	ナビス C	ヴェガ	リゲル	小会場 櫻	アルゴス A・B・C ロビー、ホワイト	オリーブ
9:00	特別シンポジウム Part III 🔊	招待講演 1-3 小動物診療の最新技術 ＜小動物獣医療への microRNA の診断的応用＞ [英] 9:00-10:00	招待講演 4 畜産分野における ICT (情報通信技術) および AI (人工知能) の活用と展望 [英] 9:00-11:20	招待講演 5 馬の細菌性感染症 ＜馬科学、獣医療における最近の話題「ウマからヒトへ、ヒトからウマへ、今注目すべき馬の細菌性感染症」＞ [英] 9:00-11:50	年次大会シンポジウム [産業動物] わが国における豚熱の最新知見とワクチンによる防疫戦略 9:00-11:50	年次大会シンポジウム [小動物] 小動物の遺伝子疾患 UPDATE: 注目すべき疾患と症状 9:00-11:50	年次大会シンポジウム [公衆衛生] 市街地に侵入する野生動物 9:00-11:50	ポスターセッション グループ A	企業展示	福岡県 農林水産まつり 式典
10:00	アジアからのワンヘルスアプローチを考える ＜薬剤耐性 (AMR) とワンヘルス＞ [日・英]	招待講演 1-4 小動物診療の最新技術 ＜小動物の痒みに対する診断アプローチ: イヌとネコの違い＞ [英] 10:00-12:00								
11:00										
12:00	8:30-12:30		ランチョンセミナー 4 東亜薬品工業(株) 12:00-12:50	ランチョンセミナー 5 ソエティス・ジャパン(株) 12:00-12:50	ランチョンセミナー 6 日生研(株) 12:00-12:50	ランチョンセミナー 7 獣医医療開発(株) 12:00-12:50				
13:00		招待講演 1-5 小動物診療の最新技術 ＜小動物の慢性腎臓病の薬物療法ー理論と実践ー＞ [英] 13:00-15:00	招待講演 6 家畜伝染病対策 [英] 13:00-14:30	招待講演 7 食中毒とその制御 ＜アジア地域における重要な食中毒とその制御について＞ [英] 13:00-14:30	年次大会シンポジウム [産業動物] 肉用牛における飼養管理と肺炎医療の最新知見 13:00-16:25	年次大会教育講演 [小動物] 膝蓋骨内方脱臼は難しい ～まずは膝関節の成り立ちを理解する～ 13:00-15:00	年次大会教育講演 [公衆衛生] 新規新型コロナウイルスであるエンソウイルスによる感染症の発見 13:00-14:00	ポスターセッション グループ B		
14:00	福岡県 “One Health” 国際フォーラム 2022 + FAVA 🔊			特別招待講演 2 「アメリカのワンヘルス教育」 デボラ・トムソン [英] 14:30-15:30						
15:00	開会式・基調講演・県民講座 [日・英]	コーヒープレイク						年次大会シンポジウム [公衆衛生] 14:30-15:30	コアタイム グループ B	
16:00	13:30-16:30			招待講演 8 ＜海洋プラスチック汚染の現状と対策＞ [英] 15:30-16:30			年次大会教育講演 [小動物] 動物病院における実際のチーム獣医療・現状と未来への期待 15:15-16:45	食中毒制御の成功例から学ぶ対策と課題 14:30-16:55	ポスターセッション グループ B	
17:00										
18:00									獣医学術賞 表彰式 17:10-17:40	
19:00	FAVA Gala Dinner		FAVA Gala Dinner サテライト会場							
20:00	18:30-20:30		18:30-20:30							
21:00										

略記について

産業動物……日本産業動物獣医学会
小動物……日本小動物獣医学会
公衆衛生……日本獣医公衆衛生学会

開催日程

大会3日目 11月13日(日)

🎧 日英同時通訳

会場	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	ポスター会場	展示会場	第8会場
	1F アルゴス E・F	1F アルゴス D	1F ナビス A	1F ナビス B	1F ナビス C	3F ヴェガ	3F リゲル	3 F 小会場 櫻	1F アルゴス A・B・C ロビー、ホワイエ	5 F オリーブ
9:00	特別シンポジウム Part IV-1 アジアからの ワンヘルス アプローチを 考える ＜各分野及び 機関における ワンヘルスの 取組みと その期待＞ 〔日・英〕 9:00-12:10	招待講演 1-6 小動物診療の 最新技術 ＜小動物の運動 器疾患とリハビ リテーション＞ 〔英〕 9:00-10:30	招待講演 9 生産病に関する 乳牛の最新知見 ＜乳牛の周産期 の飼養管理と 疾病管理の 最新知見＞ 〔英〕 9:00-11:15	FAVA 大会 一般講演 〔英〕 9:00-11:00	FAVA 大会 一般講演 〔英〕 9:00-11:40	福岡県 “One Health” 国際フォーラム 2022 + FAVA 「分科会」 9:00-11:50	福岡県 “One Health” 国際フォーラム 2022 + FAVA 「分科会」 9:00-11:50	ポスター セッション グループ B	企業展示	
10:00		招待講演 1-7 小動物診療の 最新技術 ＜愛玩動物看護師＞ 〔英〕 10:30-11:30								
11:00										
12:00				ランチョン セミナー 8 損害保険ジャパン(株) 12:00-12:50	ランチョン セミナー 9 住友ファーマアニマルヘルス(株) 12:00-12:50					
13:00		特別 シンポジウム Part IV-2 アジアからの ワンヘルス アプローチを 考える ＜各分野の ワンヘルスの 取組み＞ 〔日・英〕 13:00-15:00	招待講演 1-8 小動物診療の 最新技術 ＜FASTの応用＞ 〔英〕 13:00-15:00	招待講演 10 獣医学教育 ＜獣医学教育環 境の更なる整備 充実に向けて＞ 〔英〕 13:00-15:10	日本医師会・ 日本獣医師会・ 厚生労働省による 連携シンポジウム COVID-19時代を ペットとともに 乗り切る —COVID-19だけ じゃない人と動物 の感染症— 13:00-15:30	年次大会 一般講演 〔産業動物〕 （一般口演・ 研究報告） 13:00-14:50	年次大会 一般講演 〔小動物〕 （一般口演・ 研究報告） 13:00-14:40			
14:00	コーヒーブレイク&スタンブラリー抽選会 15:00-15:40									
15:00	特別 シンポジウム Part V まとめ・閉会式 〔日・英〕 15:40-17:00									
16:00										
17:00										
18:00										
19:00										
20:00										
21:00										

コーヒーブレイク & スタンブラリー抽選会
15:00-15:40